

糺の森



催事案内

遊び、学ぶ、
糺の森のつどいあれこれ

お問い合わせは糺の森財団事務局まで ☎075-781-0010

“秋の”糺の森コンサート「音の森」

月日 10月8日(土) 11月12日(土) 12月10日(土)

時間 午後2時～3時(予定)

場所 河合神社(糺の森南側)拝殿

参加 無料(自由)

2年目を迎える“秋の”コンサート。すっかりおなじみとなった京都市立芸術大学の音楽学部の皆さんが、今年もクラシックを中心にお子様にも楽しめる曲なども交えて演奏いたします。ご家族やお友達と美しい調べを楽しみにお越しください。勿論一人で静かに楽しみいただくのも大歓迎です。



糺の森文化講演会「秋講座」

月日 12月上旬 場所 下鴨神社 参加 無料

現在内容については検討中です。決定次第、ホームページやチラシ等でご案内いたします。もう少しお待ちください。

詳細はホームページをご覧ください。

糺の森財団 www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z

下鴨神社 www.shimogamo-jinja.or.jp

- 平成23年下半期行事
 - 10月9日 えと祈願祭(午後1時～)
 - 10月23日 フリーマーケット糺市(午前9時～)
 - 12月12日 お菓酒神事(午後1時半～)
- 平成24年上半期行事
 - 1月1日 歳旦祭 (午前6時～)
 - 1月4日 蹴鞠初め (午後1時半～)
 - 1月7日 成人祭 (午後1時半～)
 - 1月8日 初えと祭 (午前11時～)
 - 2月3日 節分祭 (午前10時～)
 - 3月3日 雛流し (午前10時半～)

下鴨神社だより

事務局だより

会議報告 平成23年4月1日より9月30日まで第4回理事会

月日:平成23年5月31日 場所:主たる事務所

出席:理事・監事

- 決議事項: ①自平成22年4月1日至平成23年3月31日事業報告の件
 ②自平成22年4月1日至平成23年3月31日決算の件
 ③定時評議員会招集の件
 ④助成事業準備資金に係る助成事業の件

第3回評議員会

月日:平成23年6月8日 場所:主たる事務所

出席:評議員

- 報告事項: ①自平成22年4月1日至平成23年3月31日事業報告について
 決議事項: ①自平成22年4月1日至平成23年3月31日決算について
 ②理事の選任の件

東海本部役員会

月日:平成23年7月13日

場所:名鉄グランドホテル(名古屋)

出席:東海本部・京都本部役員

- 報告事項: ①東海本部特別顧問就任(新任)の報告
 ②糺の森環境整備・景観保全と文化財修理事業に係る募金進捗の報告
 決議事項: ①東海本部の活動計画

会員数報告 (平成23年9月30日現在)

賛助会員 51件 団体・法人会員 29件
個人会員 1,198名 計1,278件

新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産糺の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員の誘致をよろしくお願いいたします。同封の「入会案内パンフレット」をご利用ください。

ご寄付のお願い

平成22年度も多くのご寄付をいただき、糺の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございました。平成23年度も引き続きましてご寄付をよろしくお願いいたします。同封の振込用紙をご利用ください。

第2期理事就任の報告

6月に開催の第3回評議員会におきまして、第2期(自平成23年4月1日至平成25年3月31日)の理事が選任されました。尚、第1期の理事が全員再任となりましたのでご報告いたします。

編集・発行

公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z

糺の森



題字
賀茂御祖神社
新木直人宮司

糺の森財団

理事 塚本 能交

(株)ワコールホールディングス
代表取締役社長



平素は、糺の森財団の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。文化とは、その地域の人々によって育まれ、そして次代へと伝えられています。

当財団は、千年の都「京都」にあり、自然美と歴史がとけあう世界文化遺産「糺の森」を次代につなぐための活動を行っています。

日本人の心のふるさと「京都」の市中にあり、広大な森林をたたえるこの「糺の森」は都市の森林として極めて重要な役割を担っています。

豊かな森の営みや季節の風景は人々の心身を癒し、子供達には森の生き物の営みや自然のしくみを学ぶ場となり、大気の浄化やヒートアイランドを軽減する役割はもちろん、人々の暮らしを快適で豊かにするだけでなく、街の潤いと美しい景観を守り続けています。

私自身、四季折々に移ろう美しい林泉の中を散策しながら、心身ともにリフレッシュさせ、明日への活力としており、皆様も是非この「糺の森」にお越し頂き、日本が世界に誇る文化に触れていただきたいと存じます。

この貴重な世界遺産「糺の森」を保存し、次代につなぐ努力こそ、誇都「京都」の心であり、日本の文化を守ることに他なりません。

微力ではありますが、今後とも当財団の活動を通じて、京都・日本の文化を継承・発信し、都市における自然環境保護、ひいては社会との調和や地球環境の保全に、尽力して参る所存です。

この素晴らしい世界遺産「糺の森」を、百年後・千年後の次代につないでいくため、当財団の趣意をご理解賜り、皆様からのより一層のご支援をお願い申し上げます。

糺の森の林内散策

糺の森財団 理事・学術顧問 吉田博宣

日本の森は山林であることが多い。しかし、ことさらいうまでもないが、糺の森の特徴はまず、平地林であることだろう。少なくとも京都市内ではこれだけの規模の平地林はほかにない。これまでいわれているように、糺の森は、山城平野の氾濫原に形成された樹林に由来する平地林であり、しかも落葉広葉樹のニレ科の樹木が多いので明るい樹林である。ドイツの人々は森林を散策することを好むといわれるが、そのなかでも都市林は平地林であることが多い。明るい平地林を散策するのは気持ちのよいものである。その樹林に清い流れがあればなおさらのことである。

ここ十数年間で糺の森では、時代を画すともいえるべき環境整備がなされてきた。その整備を手短かに述べれば、枯渇していた瀬見の小川や奈良の小川の復元整備をはじめ、平安期流路の復元整備とその流路に沿った箇所が発掘された祭祀遺構の復元整備ならびにその周りの散策路の整備である。糺の森に復活した小さな流れは、水辺の植物もよく茂り周りの

環境となじむようになってきて、森の中の流れとして新しい風景をつくりだしている。この一連の整備は成功したといえるだろう。

林内散策路や樹林の開放は人々が樹林の散策を楽しみ、森に親しむためのひとつの試みである。その試みに水を差すつもりは全くないが、課題が無いわけではない。人々が森林に立ち入ることによって、樹木の根元を踏みかためてしまわないように注意しなければならぬことである。根元の土壌が固まると根の呼吸に必要な酸素が欠乏し、根の生育に障害をきたし、ひいては樹木の生育に悪影響をもたらす。

いま、開放された所を見ると、地表には踏圧を軽減させるために木質チップが敷き詰められているが、根元周辺に人が立ち入らないように植えられた地被類の生育範囲がやや狭まっているように見える。樹木の根元の保護はなかなか難しい。なぜなら、成木の根系が広がっている範囲を地上から想定することは難しいからである。そこで一般に根系の広がり範囲は、枝張りの範囲とみなす



名古屋での第3回目となる展覧会を、7月13日から19日まで名鉄百貨店本店10階で開催いたしました。今年の展示は御神宝の玉依媛命の「天冠」をはじめ約30点、4,000名を超える来場者があり、盛況のうちに終了いたしました。

開催 「世界遺産 京都下鴨神社展」

ナラ枯れ防除対策事業

前号でもお伝えした、糺の森において発生しているナラ枯れ被害について、前年度の糺の森財団助成事業としてナラ枯れ防除対策が実施された。

実際に行った対策は、カシノナガキクイムシ（以下カシナガ）による衰弱木と枯死木の伐倒搬出、伐根の処理、カシナガ穿入生存木からの脱出を止めるためのウレタン被覆、カシナガ被害のない健全木すべてに対するビニールシート被覆などを実施した。

結果として、9月現在、上記の対策が功

♣ナラ枯れ♣

成虫の体長が約5ミリのカシノナガキクイムシがナラやカシ、ブナなどの樹木に穴を開けて病原菌（ナラ菌）を持ち込む病気。菌が広がると樹木の道管が破壊され、水がまわらなくなり、高い確率で枯れてしまう。近年全国的に広がりを見せており、一昨年より糺の森にも被害が及んでいる。

助成事業

を奏し糺の森には枯死木が発生していない。しかし、京都市では東山の南部は収束に向かっているが、東山の北部では被害が拡大しているとのこと。まだまだ予断を許さない事態が続いているため、引き続き見回りなどを行い糺の森の被害を食い止める努力が必要とされる。

糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内
糺の森保存会事務局
www.eonet.ne.jp/~tadsumonori-z



こともある。さらに、面倒なのは、水分や養分を吸収する細根は、多くの場合地表から比較的浅いところに分布していることである。この二つの条件を加味すれば、樹木の根元を保護するには、かなり広い範囲で、しかも地表に近い浅い土壌を固結から保護しなければならぬことになる。

一方で、人々による踏みかため

程度も問題となろう。開放された樹林に人々などの程度立ち入るのかという問題である。時折の観察であるが、参道に比べれば林内の散策路や樹林の開放地への立ち入りは少ないように見受けられる。整備した散策路は適度の歩行頻度があることが整備した主旨からも、雑草防除など維持管理の点からも必要である。

そこで、糺の森の近年の整備が来訪する人々にどのような受け止められているのかを知る意味でも、まず、整備区域での人々の立ち入りの程度を調査してみようかと思う。これにはいろいろな方法があるが、プリミティブでわかりやすいのは、道路の通行量調査と同じように、散策路等に定点を設けて一定時間そこに通過する人数をカウントする方法であろう。あるいは、人の行動の軌跡を追う調査もあろう。また、散策路の出口で、その人が歩いてきた道順をマップに書き込んでもらう方法もある。この調査では同時に、その人がどの地点を好ましいと思ったか、あるいは好ましくないと思ったか、その理由はなにか、などを尋ねることも可能であろう。このような調査は、いくつかの史跡の整備に関連して試みたことがある。例えば、大分県竹田市の国指定史跡・岡城跡遺跡整備での調査では、大半の来訪者は大手門跡から本丸跡までの、ほぼ直線の幹線路を往復する単純なケースが多く、滞在時間も短くて、その脇にある西の丸跡や家老屋

重要文化財言社・細殿 修理工事

国宝本殿の南に位置する言社は、一間社流造の社が七社、えこの守り神として信仰厚く、各社とも大國主命をお祀りしている。現在の社殿は江戸時代の寛永年間に造り替えられたもので七社とも重要文化財に指定されている。前回の修理は平成元年に屋根が葺き替えられたものの、二〇余年を経て屋根は勿論、木部の破損が著しいため、本工事では修理作業場を別に設け、言社そのものを移設し半解体修理が行われるほか、土台の修繕も実施される。

また、御手洗池の南に西面して建つ、細殿の工事を実施する。細殿もまた寛永期に



敷跡などの郭跡に立ち寄る人々が予想以上に少ないことがわかり、その後の城郭跡整備の内容や動線計画にいくつかの示唆を与えた。

糺の森の整備を進めるにあたって、樹林内へのひとの立ち入りを考えるうえで、踏圧を受けていないかどうかなど樹林の保護の観点と人々の立ち入りの意図や意識という観点の両面からとらえることが必要であろう。この二つの観点から整備後にも適時調査を行って問題があれば、その解決の方向や計画方針の変更などを検討し柔軟に対応していくことが望まれる。いずれにしろ、明るい樹林と清い流れのある快適な糺の森が持続していくことを守っていくことがわれわれの努めであることに違いない。

参考文献
森本幸裕 増田拓朗
「踏圧による土壌の圧密と樹木の生育状態」
造園雑誌四四(三)一九七五
加藤祐介 吉田博宣
「史跡岡城跡におけるシックエンス景観の分析」
日本造園学会誌六七(五)二〇〇一

造替された社殿で、桁行五間、梁間二間、入母屋造、中央向拝、松皮葺の建物でこちらも重要文化財に指定されている。

享保年中に靈元法皇が御幸されたときに御座所となり、天明度の御所焼亡のとき内侍所の御座所とされ、文久の孝明天皇行幸の折には、將軍徳川家茂の候所となるなど、社頭における最も重要な社殿の一つである。何れも松皮葺の葺替え、木部の修理、土壁の塗り直し、飾金具の補修等を予定している。

本工事は一昨年度より始まった国庫補助事業の継続事業であり、平成24年度は引き続き細殿の修理に加え橋殿の修理を行う予定である。



「京の残り福」

糺の森の紅葉は12月に入って一番の見ごろを迎えます。洛中の各名所の紅葉が終わった頃に、最も美しい紅葉が見られるので、こう呼ばれているのです。

今年は是非鮮やかな色どりをお楽しみください。



「さらや」が登場 糺の森に初めてのおやすみ処

糺の森に待望の休憩所が今年の5月に開設されました。場所は参道鳥居の手前西側。約140年ぶりに復活した「申餅」や半世紀ぶりに復活した「まめ豆茶」がいただけます。また季節のメニューも楽しめます。ご参拝の折には是非お立ち寄りください。



「音の森」コンサート



2年目を迎えたこの春も京都市立芸術大学の学生やOBの演奏で、4月はオカリナ&マリンバのコンサート、5月は悪天候の為中止、6月はトロンボーン四重奏、そして7月は弦楽四重奏の計3回のコンサートを開催いたしました。美しい緑の中でゆったりとしたひとときを楽しんでいただけたものと思います。



「映画の森、糺の森」開催

世界遺産糺の森文化講演会
糺の森・下鴨神社の歴史・文化そして自然を、京都市民のみならず広く全国の方々に知らしめるための広報活動として実施しています「糺の森文化講演会」。

8月13日(土)14日(日)の2日間、下鴨神社参集殿において、下鴨神社秀穂会と共同で開催致しました。今年の講師は、13日は『新撰組血風録』の土方歳三役などで活躍の映画俳優の栗塚旭氏、14日は『木枯らし紋次郎』や『極道の妻たち』など数多くの作品のある映画監督の中島貞夫氏。両日とも近畿だけではなく、関東・東海・四国からもご参加いただき、盛況そして好評の内に終了いたしました。企画・運営にあたりましては、下鴨神社の職員や下鴨神社青年会の方々にご協力いただきました。御礼申し上げます。講演は以下のような内容でした。



北海道での生い立ちから、京都洛北高校を卒業され劇団ぐるみ座に入団された経緯。下積み時代のあと「新撰組血風録」の

栗塚旭氏「私と糺の森」

主役に抜擢されたが、役柄の土方歳三は好みのキャラクターではなかったことなどの裏話を交えて、下鴨にあった松竹撮影所での映画作りの様子や「燃えよ剣」等の撮影では、糺の森が欠かせないロケ地であったことなど、映画のセリフを交えながら楽しいエピソードを語っていただきました。



中島貞夫氏「京都の映画スター達」

都市の中に残っている原生林は素晴らしい。糺の森が最高のロケ地であったこと、映画と糺の森は切っても切れない縁があること。

日本の映画の起源は京都にあり、それは電気を必要とする映画にとって、発電できる設備がすでに京都に完成していたからという当時の映画事情。フランスから伝えられた日本映画の創成期から、昭和30年代の絶頂期にかけての映画作りや、スター達の興味深い逸話を軽妙な語り口でお話いただきました。

第21回 糺の森市民植樹祭

恒例の「糺の森市民植樹祭」を4月29日(金)に開催。本年は29本(カエデ7本・ケヤキ9本・カツラ10本・ムク3本)という多くの献木をいただき、糺の森後継樹の苗木500本とともに植樹を行いました。

平成3年の第1回からの成木の献木は200本を超え、森のあちこちでご覧いただくことができます。

本年も、藤田造園様より苗木500本をご寄贈いただき、また林屋電気商会様・藤田造園様には設営等にご支援ご協力をいただきました。感謝申し上げます。

成木献木者

五十音順

- 伊庭達仁様 氏家伊知子様
- 岡田啓司様 梶本小夜子様
- 榎野 実様
- 京都SKY観光ガイド協会様
- 黒川賢成様 齊藤玲子様
- 貞包智悠様 平えり子様
- 高田治一郎様 玉井義明様
- 手高千恵子様 手高友一郎様
- 土井健人様 當間博隆様
- 床尾 卓様 富永晃平様
- 仲ハルエ様(2本) 中嶋直子様
- 中谷永達様 濱崎勇三様
- 濱本公子様 疋田 聡様
- 藤井美代子様 村上 清様
- 村上健治様 森川邦男様

第21回 螢火の茶会と糺の森納涼市

恒例の「螢火の茶会」を6月11日(土)に開催。約4,000名の観光客が訪れました。夕方5時からのお茶席には財団会員や招待客の約930名の方が参席され、また、境内では箏曲の演奏や雅楽舞も披露され、多くの方が楽しめました。午後8時には御手洗池に約400匹の螢が放たれ、クライマックス。今年も無事終了いたしました。

同時に楼門前表参道にて開催された「糺の森納涼市」は、京の有名老舗など19店の出店があり、午後1時から9時まで賑わっていました。

今年も多くの皆様にご奉仕ご協力をいただきました。感謝申し上げます。

- 〈お茶席・点心席奉納〉 裏千家前家元 千玄室様
- 〈お茶席奉仕〉 淡交会京都南支部様
- 〈点心席奉仕〉 本家尾張屋様
- 〈箏曲奉仕〉 錦綾子社中様
- 〈十二単衣の着付と王朝舞〉 下鴨古楽会様
- 〈ご協力〉(敬称略・五十音順) 岸野電気 松風園 (株)鈴木建設 西村管工 (株)林屋電気商会 (株)藤田造園 (株)ワコールホールディングス